

鳥取縣公報

昭和十八年三月二十六日
第千四百十九號

金曜日

告示

◆鳥取縣告示第四百十五號

昭和十八年三月十六日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證下附セリ

昭和十八年三月二十六日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

免許證番號	住	所	氏 名
一、四四二	西伯郡境町相生町一番地		酒井 滿夫
一、四四三	日野郡山上村大字茶屋三〇ノ七番地	谷	晋市

目次

- 告 示
 - 動力糶摺業免許證下附……………一頁
 - 溶性サツカリン最高價格改正……………二頁
- 彙 報
 - 鳥取縣甘藷馬鈴薯増産報國期成會の設立……………三頁
 - 家庭に於ける教育費の節減……………六頁
 - 其の他……………

鳥取縣公報 毎週 曜日發行 (休日ニ當ル)

昭和十八年三月二十六日 第千四百十九號

(昭和四年四月十五日) 第三種郵便物認可

一

00814

鳥取縣告示第四百十六號

昭和十七年一月鳥取縣告示第二十六號(醫藥品ノ最高販賣價格指定ノ件)中左ノ通改正ス

昭和十八年三月二十六日

鳥取縣知事 土 肥 米 之

一 洋藥ノ表中「溶性サツカリソ」ノ項ヲ左ノ如ク改ム

溶性サツカリソ罐 二二、五班 四二二、一九

同 壘 五〇〇瓦 一七、六六 一九、一八

同 同 二五〇瓦 八、九七 九、八三

同 同 二五瓦 一、〇〇 一、一四

五ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

六 本表溶性サツカリソノ販賣價格ハ物品稅ヲ含ムモノトス但シ物品稅法ニ依リ物品稅ヲ免除セラルル場合ノ販賣價格ハ本表溶性サツカリソノ販賣價格ヨリ物品稅ニ相當スル額ヲ控除シタル額トス

正 誤

昭和十八年二月二十三日附鳥取縣告示第九十三號中十二頁五行目

「小屋場」ハ「小屋場」、十六頁終行「奥ノ谷」ハ「奥ノ谷」ノ

孰レモ誤

00815

彙 報

鳥取縣甘藷馬鈴薯

増産報國期成會の設立

—その組織と事業計畫—

「腹が減つては戦が出来ぬ」と昔からいふやうに、戦力増強の根源は何としても食糧の確保にまたねばならぬ。

然るに時局下種々の事情でとかくその國內自給が困難となり、しかもこれを海外に求めることは非常な危険が伴ふばかりでなく船舶經濟の上からも頗る困難な事情にある爲、われわれはあらゆる食糧作物の増産を圖つてこれを解決する以外に途がないのである。

然るに内地に於ける主要食糧の生産狀況は事變以來官民懸命の努力にも拘らず、未だ充分な増産成績を擧げるに至らず、米麥については耕種の技術が既に普及發達してゐるので、今後の増産については相當の苦心が伴ひ、特に現今のやうに生産條件の逆轉し

てゐる状態に於ては、これが増産はなか／＼困難とせむならぬしかし諸類については未だその目標達成に前途遠く、栽培上の技術的改善と栽培反別の増加に努めることによつてなほ相當の増産は可能で、收量を倍加せしめることも容易であると信ぜられる。そも／＼諸類が主要食糧農産物として取り上げられ、又アルコール原料その他の爲に盛んに増産を奨励せられるに至つたのは最近四五年來のことで、それに本縣は從來食糧が豊富で、甘藷の如きは低位食糧作物として栽培は一小部分に止まり、又馬鈴薯は惣菜用として栽培せられるに過ぎなかつた爲、諸類の既往に於ける栽培反別は極めて少なく、技術もまた幼稚で反當收量の如きも甚しく低い現状にある。

惟ふに諸類は少量の肥料を以て栽培出来るばかりでなく、地質の劣悪な土地でも栽培が可能でかつ比較的勞力も少なくてよいので非常時食糧として最も適當なものである。即ち諸類への増産努力こそは刻下食糧確保の上から、極めて喫緊の問題といはねばならないのである。

就てはこの諸類増産の施設については、國家としても又本縣としても相當實施されてゐるが、この際更に飛躍的な増産を圖る爲には一層官民一致協力の体制を整備し、國家並に縣の施設指導

00816

を擴大化する必要があると認められるので、このたび縣並びに縣下農業關係官、縣郡各種關係團體、及び資金の寄附者をして「鳥取縣甘藷馬鈴薯增産報國期成會」を組織し、知事を會長、內務部長及び縣農會會長を副會長とし、理事に農務課長、農事試驗場長、縣農會幹事、產業組合聯合會事務理事、日甘會社鳥取出張所長が當り、顧問に本縣選出貴衆兩院議員、縣會正副議長、高農校長、警察部長、官房長、翼贊會事務局長、食糧管理理事長、縣單位農業關係團體長、農業報國聯盟鳥取支部長、縣下町村長會長、日婦縣支部長を、又參與として縣會議員、郡市農會會長、縣立農學校長、産組支所長、大政翼贊會兩部長、農産物検査所長、縣下に本社支局を有する新聞社、放送局を推し、縣並に農事試驗場及び系統農會關係者が幹事となつてこの甘藷馬鈴薯の大増産を圖り、戦時下食糧の充實を期することとなつたので、各位の協力を得て所期の目的を達成するやう切に期待する次第である。

さて、この鳥取縣甘藷馬鈴薯增産報國期成會の企圖する増産計畫によると、まづ各種の方法によつて精神運動を起すと共に増産技術の指導を徹底せしめ、又種苗の無償配付その他物質的の助成をすると共に、これが資金は縣補助並に團體及び個人の特志寄附によることとし、昭和十八年と十九年の兩年度經費とし、金十五

萬七千圓の調達を圖ることとなり、昭和二十年度以降の經費については其の時の事情により適當の方途を講ずる筈である。事業計畫を昭和十八・九年度の兩年に止めたのは、この一兩年が大東亞戰爭中最も重大な時期で、我が國がこの一兩年戰爭に勝ち抜くならば、百年の長期戦も容易に勝ち抜いて最後の勝利を獲得し得ると信ずると、又この兩年間の獎勵施設が實を結んで將來増産の基礎を確立し得たならば、二十年度以降は自然に益々増産を得るであらうと信ぜられるからである。いまその増産計畫を略述すると次の通りである。

一、甘藷育苗

甘藷増産上優良苗を確保することは最も重要であるに鑑み、優良苗の育成を圖る爲共同育苗を主体とする自給苗の生産を企圖するもので、昭和十八年度に於ては本縣栽培計畫三千三百町歩に對し苗床反當一坪半、總計四萬九千五百坪に對する二分の一、二萬四千七百五十坪の共同育苗床を設置せしめて坪當一圓四十錢以内の助成をなし、各市町村に甘藷育苗に優秀なる技術を有する者平均二人を、共同育苗管理人に任命して一切の責任を課し、優秀苗の生産に當らしめ、又この育苗指導の爲共同育苗管理人の技術指導を目標として、縣下三ヶ所に於て講習會を開催することとなつてゐる。

00817

二、優良、苗の無償配付

優良な品種を一般に普及せしめる爲、各都市農會に於ける採種圃設置に對して優良種苗の無償配付を行ふ。

三、諸類増産講習會開催

- 1 特殊講習會 農會技術員の技術向上を目的とするもの
- 2 一般講習會 一般當業者の技術向上を目的とするもの

鳥取市一ヶ所	岩美郡二ヶ所
八頭郡三ヶ所	氣高郡三ヶ所
東伯郡五ヶ所	西伯郡四ヶ所
米子市一ヶ所	日野郡二ヶ所

四、甘藷馬鈴薯增産座談會

篤農家の參集を求め、各自の体験による技術を公開せしめて一般増産に寄與せしめる。

五、增收目標突破懸賞

各都市別に増産目標を定め、目標突破の最高位に對し懸賞金を交付して増産奨励の一助とする。

甘藷馬鈴薯各一點宛

東伯、西伯	三百圓	四點	一千二百圓
氣高、米子	二百圓	四點	八百圓
鳥取、岩美	百五十圓	八點	一千二百圓
八頭、日野			

六、馬鈴薯 毎年更新施設

馬鈴薯は寒冷地生産の種子を使用することによつて増收性が強大するに鑑み、種子更新による増産を計畫して、更新種子に補助金を交付し、全種子の毎年更新を圖る。

七、馬鈴薯採種試驗

本縣内の高原地帯に約一町歩の馬鈴薯採種試驗地を設置し、優良種子生産の可能性を試験して種子對策を講ずる。

八、表彰

諸類増産に關する功勞者を表彰して一般當業者の熱意の昂揚に資する。

九、技術動員指導

増産に關する技術動員を行ふ爲、縣・試驗場・縣農會等に於てこれが指導を行ふ。

一〇、その他

諸類増産に關する精神運動の展開をなすと共に増産上障害となるべき事項の除去に關する運動を行ふ。

以上は昭和十八年度に於ける増産計畫の概要であるが、十九年度に於ても大体に於て同様の計畫により實施し、この計畫により甘藷は昭和十八年に於て十七年に比し六百八十四萬一千二百四十

實を増して千百六十七萬一千二百四十貫を得、同十九年に於ては十七年に比し八百萬八千五百六十貫増、目標數量千二百八十四萬八千五百六十貫を得ることとし、馬鈴薯は十八年度は十七年に比し百二十八萬五千四百貫を増加して二百七十三萬二百貫に、十九年度於ては十七年に比し百六十九萬一千五百貫を増加して三百十三萬六千三百貫を得ようとしてゐるのである。

我等は今や米英撃滅の爲に全力を盡して戦つてゐるのであるがもとよりこの戦は幾年續くかわからぬ長期戦である。しかし敵はその自負する經濟力によつて反攻の機をねらつてゐて、この昭和十八・九年こそ各種の事情から推して勝敗の分岐點をなすべき大決戦の年であるから、我等は何が何でも勝たねばならない。「撃ちてしまむ」これこそ眞に我等の使命である。

我々は開戦以來赫々たる皇軍の大戦果によつて、必勝不敗の態勢を獲得してゐるが、各種資材の確保と共に國民食糧の確保は前にもいふ如く戦勝の根柢をなすもので、是非完全に食糧確保の重任を果し最後の勝を制しなければならぬのであるから、農民はもとよりあらゆる銃後各位の熱烈な後援と協力によつて、必ず食糧國內自給の爲に甘藷馬鈴薯の劃期的増産を遂行し、この増産報國期成會の目的達成に格段の努力を切望するものである。

家庭に於ける 教育費の節減

一層考究して支出輕減
貯蓄源泉の涵養増強へ

「撃ちてしまむ」の敢闘精神の下に米英撃滅大東亞共榮國建設に邁進する我々は、銃後の重責として全力を盡して生産増強に努めると共に、國民貯蓄の完遂に盡瘁してゐるのであるが、他面中等學校・青年學校・國民學校等に在學修業中の生徒兒童としてこの貯蓄増強に精進することは、たゞに教養上の點からばかりでなく進んで各生徒兒童それらの報國の道として洵に意意深いものといはねばならぬ。特に時局進展と共に國民貯蓄要請いよゝゝ強化されてゐる今日、生徒兒童の貯蓄實踐は家庭その他に及ぼす影響も極めて大であつて、その實行については一層奮勵の必要があるが、これが實踐に當つてはその源泉を單に父兄の支出に待つことなく、進んで生徒兒童の勤勞と消費の節減に依らねばならぬ。

就てはこれに關聯する家庭よりの教育費支出の節減に關し、學校並に家庭に於ける蓄積の留意により相當實績をあげてゐる、ある

が、なほ一般の積極的な工夫をなす必要が多分に存と信ぜられるのである。由來我が國の家庭ではその子弟の教育については何物をも顧みないといふ風思想があり、これは實に我が傳統の美風とも稱すべきものではあるけれども、これが爲ともすれば教育費が一般家計上に占める割合が益々大をなす傾向もあつて、物資の節約、貯蓄の増強を最も緊要とする今日に於ては、この間特に工夫を必要とするものがある。單に教育費の形式な心持にとらはれて反省を加へない如きは、時局の要請に副はぬ處があるのである。

従つて現下の教育としてはその本体は益々これを充實すると共に、同時に教育費支出の節減に積極的な研究努力をなすことは極めて大切であつて、これは實に生徒兒童の貯蓄のみでなく父兄の重要貯蓄源泉となるべきものである。特に目下各學校に於ては卒業期と入學進級期に際してゐるのであるが、必ず徒らに從來の例によつて無用の出費を來さぬは勿論、更に格段の創意を加へて積極的に家庭よりの教育費支出を節減するやう特に留意を要するのである。

縣ではこの點各學校に對しても通牒してゐるが、各家庭に於ても充分なる協力を切望する次第である

週報・寫眞週報掲載内容

(三月二十四日發行)

▲週報

- 敵の企圖する日本空襲
- 大型焼夷弾と防護心得
- 戦争死亡傷害保険問答
- 常會の頁
- 頼母しい戦争生活例
- 決戦下の船員の待遇

▲寫眞週報

- 國民政府還都三周年
- △同生共死の戦線に勇戦する國府軍
- △石澤運河建設に注ぐ華北の總力
- △新支那最近の狀勢
- 昭南神社鎮座祭
- ポルネオ便り
- △ダイヤ族青年の巡查教習所
- △石油の街パニックパベンから
- 陸軍記念日の帝都
- あかるく戦はう
- グライダ―協會

○ 行旅死亡人

埼玉縣北足立郡新倉村長ヨリ左記行旅死亡人取扱アル旨報告有之候條心當リノ向ハ直接該村長宛照會相成度

一、本籍、住所、職業、氏名不詳

一、年齢及性別 推定年齢五十歳位ノ男子

一、人 相 身長五尺位頭髮丸刈頬骨高ク体瘦形出齒ニシ

テ下齒ハ中央ヨリ五本クローム義齒アリ著衣

カーキ色外被地様裏表共ノ拾一枚一見精神病

者風

一、所持金品 ナシ

一、死体發見ノ場所

昭和十七年十月三十日午前七時頃新倉村字鹽

田二六六一番地先水田中ノ細堀内

一、醫師ノ檢案ノ死因 溺死

一、警察署ヨリ引渡シヲ受ケタル年月日

昭和十七年十月三十日浦和警察署ヨリ引渡ヲ

受ケ

一、死体ノ葬ノ日時及場所

一、取扱者 北足立郡新倉村長

昭和十七年十月三十一日當村字四ツ木共有墓地へ假埋葬ス

昭和十八年三月二十六日印刷
昭和十八年三月二十六日發行

鳥取縣鳥取市東町
發行所 鳥取縣
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所